

児童発達支援・放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年2月28日

事業所名 みらくる 楽さん家

配布数 20世帯(児童数24名) 回収数 16世帯 回収率 80 %

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	児童発達支援:フロアの広さは適していますが、個別スペースの確保が十分ではありません。また、屋外での活動は、サンルームや砂場を利用したり、近くの公園で遊ぶこともあります。放デイ:人数に適した広さで、個別スペースの確保も十分にできています。	15	0	0	1	・少人数なので丁度いいと思う。	児童発達支援では、机上での個別課題スペースが十分でないため、今後レイアウトを工夫していきます。引き続き子どもの特性に合わせ、個別や集団での支援ができるよう活動スペースを十分に確保し、清潔感を保てるよう努めていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	人員基準に則って配置しています。各職員の専門性を活かし、知恵を出し合いながら支援しています。	15	0	0	1	・全職員のことを把握できていないからわからない。	顔写真入りの職員紹介文を配布し、再度職員を周知します。研修会等の参加を通じて各職員、専門性の向上に努めていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	子どもが理解しやすく、自主的に活動しやすい環境を整えていこうと努めています。放課後等デイサービスのフロアは2階でエレベーターがないため、利用児童に制限があり、バリアフリー化が実現できていないのが現状です。階段は傾斜を緩やかにし、手すりや踏板には滑り止めを付けています。	9	0	0	7	・見学に行った時に違和感を感じなかった。	エレベーターの設置予定はなく、利用児童に制限がかかっていますが、介助で階段の昇降が可能なお子様の受け入れは行っております。今後も子どもたちが安全かつ負担なく楽しく活動できる環境に随時改善していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	支援の中での疑問や問題点を職員間で話し合っているが、全職員一同に集まることができていません。個々の職員との意見交換から改善案を出して取り組んでいます。	/					毎月1回ケース検討、業務改善検討会議を行い、全ての職員がPDCAサイクルに参画できる仕組みを作り、業務改善を行っていきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	昨年度より保護者アンケートを実施し、改善可能なところから取り組んでいます。	/					今後もアンケート調査を実施し、保護者の方々からのご意見を集め、業務改善につなげていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	保護者には紙媒体で配布し、事業所玄関にも結果を置き、誰でも閲覧できる状態にしています。	/					ホームページでの公開ができるよう現在調整しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	特にしていません。	/					第三者評価を受審する予定はありませんが、来年度に向けて第三者委員の設置を行います。外部の方々からご意見をいただきながら事業所運営に反映していきたいと思っております。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	支援に関わる研修を案内したり、積極的に参加できる機会を設けていますが、今年度は人員確保ができずに全職員に研修の機会を与えることができませんでした。	/					できるだけ多くの職員が複数回研修に参加できるように体制を作っていきます。やむを得ず、職員研修のための臨時休業もあるかと思いますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。
適切な 支援の 提供	9 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2または放課後等デイサービス計画*3が作成されているか	子どもと保護者にニーズや課題を聞き取った上でアセスメントし、計画を作成しています。	15	0	0	1	※特になし	今後も子どもと保護者にニーズや課題を聞き取った上でアセスメントし、計画を作成していきます。
	10 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援または放課後等デイサービス計画を作成している	アセスメントをした上で、個別活動と集団活動の支援内容を検討し、計画を作成しています。	/					今後も子どもの状況に応じて、個別活動・集団活動の支援内容を検討し、計画を作成していきます。
	11 児童発達支援計画または放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援をしている	個々の計画に沿った支援を行っています。	15	0	0	1		今後も一人一人に合わせた支援を計画に基づいて実践していきます。
	12 活動プログラムの立案をチームで行っている	児童発達支援と放課後等デイサービスの2グループに分かれて立案しています。	/					今後も2グループに分かれて立案し、職員会議にてみんなで再度内容を検討して最終確認していきたいと思っております。
	13 活動プログラム*4が固定化しないよう工夫している	繰り返し、継続性を大事にしながらも、新しいことにチャレンジして欲しいとの思いから、プログラムが固定化しすぎないようにしています。活動中の子どもの様子や課題の達成具合を見ながらプログラムを再考しています。	15	0	0	1	・「今日は何したよ!と子どもが教えてくれます。 ・いろいろなことに興味があるので色々教えてもらってありがたいです。 ・毎週色々な活動を取り入れもっており、本人も楽しんでいるようです。	今後も子どもの状況と必要性を見極めながら、同じ課題を継続するか、新しい課題を提供するか等を職員間で検討し、子どもたちの「できた!」がたくさん経験できるようにしていきたいと思っております。
	14 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	祝日や長期休暇には、外出行事や季節感が感じられる活動を取り入れ、子どもたちの意欲が上がるようなプログラムを組んでいます。	/					今後もいろいろな経験ができるようなプログラムを組んでいきます。少人数の事業所だからこそできることにチャレンジしていきたいと思っております。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	出社後すぐに送迎に出る職員もいるため、打合せの時間が十分に確保できていません。支援の時間の中で情報共有しています。	/					短時間で的確に情報共有ができる方法を検討し、実践していきたいと思っております。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	支援終了後に振り返りはしていますが、朝と同様に時間が十分ではありません。	/					短時間で的確に情報共有ができる方法を検討し、実践していきたいと思っております。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	毎回必ず記録をとり、支援の検証・改善につなげています。	/					今後も正確に記録し、支援の検証・改善に生かしていきます。
18 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援または放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	保護者から通っている園、学校と家での様子を聞き取り、目標の達成状況の確認と新たな課題の把握を行っています。	/					今後も保護者からの聞き取りと子どもの様子をじっくり観察しながら、計画の見直しを行っていきます。	

	19	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	現在交流は行っていません。	0	0	0	15	※特になし	現時点で予定はありませんが、今後希望等あれば検討していきたいと思います。
関係機関との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	サービス担当者会議には管理者または児童発達管理責任者が出席しています。会議の前には他の職員に支援について気になることはないか、他事業所に聞いておきたいことはないか等情報収集をしてから参加します。						今後もサービス担当者会議には積極的に出席し、関係者との情報共有を大切にしていきたいと思います。サービス担当者会議で得た情報を確実に職員に伝達して支援に生かしていきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	学校の行事予定や下校時刻は保護者から連絡をいただいて確認しております。事情があって送迎が送れる場合には、事業所から直接学校に連絡しています。これまでも特に問題なく対応できています。						お迎え時に担任の先生から子どもの学校での様子を聞くように心がけています。子どもの支援にとって必要なことは情報共有していきたいと思います。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	市の保健師や障害福祉課と情報交換する機会があります。						必要に応じて、子育て支援等の関係者と連携を図っていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	現在該当者はいません。						当事業所には看護師がいないため、医療的ケア児について現時点で受け入れる予定はありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	現在該当者はいません。						
	25	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	入園前に相談支援専門員と一緒に入園先に子どもの支援内容と活動時の様子を伝えています。						今後も子どもたちが円滑に園生活を送れるように、支援を通じて知り得た子どもの特性や性格、当事業所での支援方法を伝えていきたいと思います。
	26	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	これまで該当者はいません。						保護者からご要望があれば、当事業所での様子や支援内容を情報提供していきます。
	27	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	児童発達支援センターから研修案内はいただいておりますが、日程が合わず参加できていません。保護者対象の研修等は、保護者に情報提供をしています。						今後も専門機関と連携して、積極的に助言や研修を受けていきたいと考えています。
	28	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	子ども発達支援部会や通所支援事業所連絡協議会に参加しています。子ども発達支援部会は午前中開催で児童発達支援の時間と重なるため、全職員が参加できていません。						子ども発達支援部会の研修内容によっては、職員の資質向上のために参加し、その日は臨時休業の措置をとらせていただく場合があります。
29	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	地域住民を招待するような活動はまだ行っていません。						3月に放課後等デイサービスの子どもたちの作品展を開催するので、近所住民の方々へのお声掛けをしていきたいと思っています。地域の方に当事業所の存在をしていただき、障がい理解につながるとういと思っています。	
保護者への説明等	30	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	見学や契約時に説明させていただいています。利用者負担については、請求書に算定している加算の明細を記入しています。	16	0	0	0	※特になし	引き続きわかりやすく丁寧な対応を心がけていきたいと思っています。支給量や負担上限月額に変更があった場合には、しっかりと確認していきます。
	31	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	通所時や送迎時に保護者とお話する時間を設け、子どもの様子を伝え、支援内容の共通理解を深めています。	15	1	0	0	※特になし	今後も保護者の方とのコミュニケーションを大事にしていきたいと思っています。
	32	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	プログラムとして取り入れていません。						プログラムとして取り入れる予定はありませんが、定期的に子どもの特性に合わせた関わり方をご助言していきます。
	33	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	通所時や送迎時に保護者とお話する時間を設け、相談しやすい関係性の構築に努めています。相談内容によっては、相談支援専門員さんと相談してご助言することもあります。	11	2	0	3	※特になし	保護者の方がいつでも気軽に相談できる関係づくりを目指していきたいと思っています。
	34	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3月に保護者会を開催します。	3	0	2	11	・利用したばかりなのでわからない。 ・ほかの保護者の方とお会いすることがないためわかりません。	定期的に保護者会を開催し、保護者同士の交流が図れるよう支援していきます。また、児童発達支援では、保護者イベントを通じて保護者同士が近くなれるよう支援していきます。
	35	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	契約時の重要事項説明書に事業所の苦情受付担当者や第三者の相談機関を明記し、苦情の対応体制を整備しています。	11	0	0	5	※特になし	苦情があった場合には、迅速に事実確認を行い、改善策を職員で検討し実践することで再発防止に努めています。
	36	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	相手が得意なコミュニケーション方法を用いて、伝わりやすいよう、適切に情報共有できるように努めています。	16	0	0	0	・連絡ノートや送迎時に教えていただいているので、その日の様子が伝わります。 ・他の事業所と違って連絡ノートもあるし、気になることがあっても送迎の時に聞けるのでよいと思う。	本人の前で話しにくい内容の時は、別室を用意する等適宜対応させていただきます。
	37	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	活動の予定表を作成し、予定表の前月に保護者に配布しています。日々の活動の様子は、連絡帳を活用して保護者に対して発信しています。	16	0	0	0	・いろいろな活動をしていただきありがとうございます。 ・見やすく、楽しそうで予定表を見るのが楽しみです。	保護者の方からいろいろな意見をいただきながらより見やすい予定表に改善していきたいと思っています。子どもたちの日々の様子は連絡帳だけでなく、写真や動画を保護者に見ていただくことにより、今まで以上にわかりやすく発信していきたいと思っています。
	38	個人情報に十分注意しているか	契約書に定める使用目的以外で第三者に情報提供を行い場合には、必ず保護者の同意をとります。	16	0	0	0	※特になし	今後も細心の注意を払いながら、個人情報の保護に努めていきます。職員への周知徹底も繰り返し行っていきます。
	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	各種マニュアルがある旨は契約時に説明しているが、周知が十分ではありません。	6	0	0	10	※特になし	保護者全員に周知徹底することを目標に再度説明する機会を設けていきます。また、必要に応じてマニュアルの更新を行い、職員への周知徹底も再度行っていきます。

非常時等の対応	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	年2回防災避難訓練を行います。	4	0	0	12	※特になし	浜方に移転してからまだ実施していないため、火災、高潮を想定した避難訓練を実施していきます。実施結果はその都度保護者の方にもお知らせします。
	41	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	虐待防止に関する外部研修へ参加をしています。全職員が受講できていません。	/					虐待が子どもに与える影響を職員に周知して虐待防止への意識を高めていきます。「施設・地域における障害者虐待防止チェックリスト」を実践し、職員のセルフチェックも行っていきます。
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援または放課後等デイサービス計画に記載している	基本的に身体拘束はしません。ただし、子どもや職員に危害が及ぶと事業所が判断した場合には、保護者の同意のもと、クールダウンするまで危険がないように環境を整えて対応します。	/					身体拘束はしないことを前提に支援を行っていきます。やむを得ない場合は、保護者の同意のもと、クールダウンするまで危険がないように環境を整えて対応します。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	食事の提供はしていませんが、契約時に食物アレルギーの有無は確認しています。	/					今後も食事提供の予定はありませんが、食物アレルギーの有無の把握はしていきます。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	「ひやり・はっと」報告書を作成し、全職員に供覧しています。大きな事故につながらないよう、職員間で情報共有しています。	/					今後も「ひやり・はっと」報告書を活用し、職員の危機意識を高め、事故を未然に防いでいきたいと思っています。
満足度	45	子どもは通所を楽しみにしているか	/					<ul style="list-style-type: none"> ・毎週喜んで通園しており、帰ってきた時の表情で楽しく過ごせた様子が感じ取れます。 ・毎日のように楽しかった！！早く楽さん家に行きたいなあーと3人とも言っています。 ・とても楽しみにしています。 ・できれば利用日を増やしたい。 	・子どもたちが通うのを楽しみにしてくれているという結果が何よりうれしいことです。保護者の方々の安心が子どもたちに伝わると考えています。保護者の方々、関係機関と密に連携を取りながら、子どもたちが安心して楽しみながら通える事業所をこれからも目指していきたいと思っています。
	46	事業所の支援に満足しているか	/					<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子など写真で見せてもらえると、どんな風に取り組んでいるかが分かっていいなと思います。 ・楽さん家に行くようになって明るくなり話を良くしてくれるようになりました。 ・大変良くして頂いて本当に感謝しております。 	
	47	子どもと一緒にやってみたい保護者参加型のイベントは	3月に参観日を開催し、子どもと保護者でアルバム作りを行う予定にしています。	/					<ul style="list-style-type: none"> ・クッキングは大好きでよくお手伝いしてくれるので開催されるととてもよろこぶと思います。 ・クッキング、公園、外出、製作、参加できたら何でも嬉しいです。 ・ぜひ活動の様子を見学してみたいです。集まりの様子や個別支援の様子など、日常の姿を参観してみたいです。 ・クッキングなど機会があれば参加してみたいです。 ・果物狩り ・芋ほり ・大きな公園への外出

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*4 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせで実施されることが想定されている。